

タイ東北部稲作農業従事者向け『天候インデックス保険』の販売地域拡大

当社海外拠点である Sampo Japan Nipponkoa Insurance (Thailand) Public Company Limited (社長：斎藤 滋夫、以下「損保ジャパン日本興亜タイランド」) は、タイ東北部の干ばつによる農業従事者の被害の緩和を目的とした『天候インデックス保険[※]』の販売地域を、2014年7月1日、タイ国内9県から17県へ拡大しましたのでお知らせします。

※『天候インデックス保険』・・・タイ気象庁が発表する7月単月および8～9月の2か月の累積降水量を観測対象とし、いずれかの期間における累積降水量の観測結果があらかじめ定められた基準値を下回った場合、契約上定められた保険金をお支払いする商品です。

1. 『天候インデックス保険』の販売地域拡大の背景

タイ東北部は、タイにおけるコメ生産の中心地であり、干ばつ発生時にはコメ生産に大きな被害が発生することから、特に近年の気候変動に対する適応策が必要と考えられています。損保ジャパン日本興亜タイランドは、タイ農業協同組合銀行 (Bank for Agriculture and Agricultural Cooperatives、以下「BAAC」) のローンを利用するタイ東北部の稲作農家に対して、2010年からBAACを通じて『天候インデックス保険』の募集をしています。

2011年以降、タイ東北部には、2年連続で干ばつが発生している地域もあり、保険の必要性が改めて認識されています。『天候インデックス保険』については商品の分かりやすさと、保険金をお受け取りいただくまでの迅速性について、高いご評価をいただいております。このたび、現地のお客さまおよびBAACからの要望にお応えし、販売地域を17県へ拡大することを決定しました。

2. 2014年度の『天候インデックス保険』の販売地域

2014年度は、新たにタイ東北部の8県を加え、合計17県で販売します。

2013年度までの販売地域 (9県)		2014年度から拡大した販売地域 (8県)	
コーンケン	ナコンラチャシーマ	ヤソートーン	ルーイ
マハーサーラカーム	カーラシン	アムナートチャルーン	ナコーンパノム
ローイエット	ブリーラム	ノンカーイ	サコンナコーン
シーサケート	スリン	ウドーンターニー	ブンカーン
ウボンラーチャターニー			

3. 今後について

損保ジャパンおよび日本興亜損保は、今後も「気候変動への適応」を始めとした世界的課題の解決に資する新商品やサービスの開発に取り組んでいきます。

以上